

家計消費状況調査 通信

日々お忙しい中、家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。
ここでは、皆様のご回答からわかる様々な暮らしぶりの変化をいくつか紹介します。

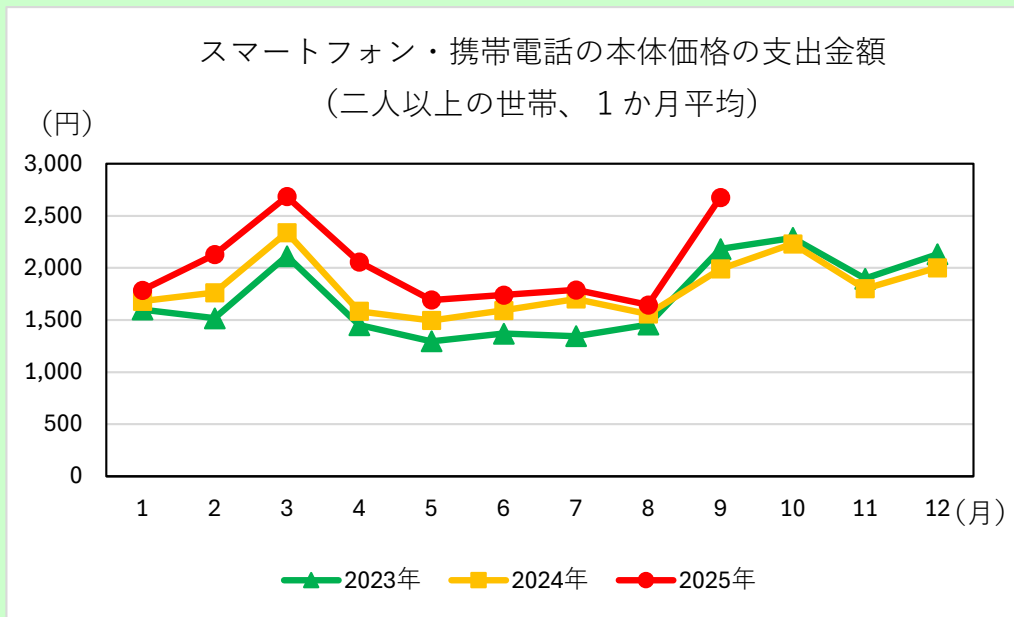
スマートフォン・携帯電話の支出金額

スマートフォンや携帯電話は現代社会において広く普及しており、日常生活においてなくてはならないものとなっています。

スマートフォン・携帯電話の本体価格の支出金額を月別に見てみると3月、9月及び10月に多い傾向があります。

支出金額が多い要因として、3月は決算期における携帯電話会社のキャンペーンや、

新年度に備えて買い替えを行う人が多いこと、9月及び10月は人気機種の新モデルの発売や旧モデルが割引される時期であることなどが考えられます。



ご協力をお願いします

- ◆調査票のインターネットでの送信又は郵送での投函は、翌月5日までに行ってください。
- ◆「訪問・郵送提出」を選択された場合、1か月目（調査開始月）及び6か月目は、訪問する調査員に調査票をお渡しください。



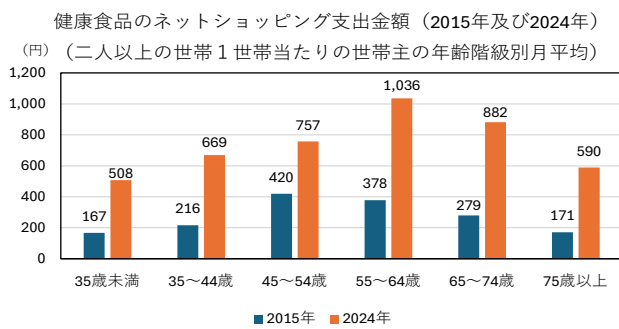
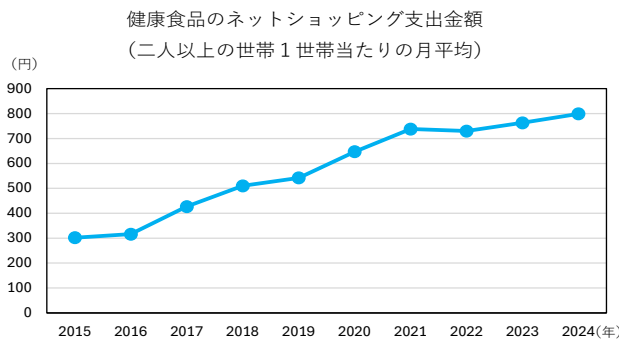
全ての世帯主の年齢階級で健康食品の支出が増加

健康食品のネットショッピングの支出金額は、調査を開始した2015年以降、増加傾向にあります。

世帯主の年齢階級別にみると、2024年は2015年に比べ、全ての年齢階級で支出が増加しています。特に「75歳以上」において伸びており、約3.5倍となっています。

また、2024年においては「55～64歳」の支出が最も多く「65～74歳」と続きます。

健康食品のインターネットによる購入が幅広い年齢層においてより多くなっていることがわかります。



よくあるご質問

Q 調査の対象となる「電子マネー」について教えてください。

A 事前に現金と引き換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカードのことです。後払い(ポストペイ)方式のICカードなどは含めません。

詳しくは、お渡ししている【調査世帯のみなさまへ】12又は20ページ*をご覧ください。

*2026年1月以降に調査を開始される世帯におかれましては、10又は18ページをご覧ください

Q 「01」スマートフォンなどの通信・通話使用料は何月分を記入するのですか。

A 例えば、1月分に記入する場合、1月に届く請求書(12月分の使用料)の料金を記入します。

詳しくは、お渡ししている【調査世帯のみなさまへ】26ページ*をご覧ください。

*2026年1月以降に調査を開始される世帯におかれましては、24ページをご覧ください

Q インターネットで商品を購入した場合、送料は購入金額に含まれますか。

A 送料は購入金額に含めません。ただし、送料を除くことができない場合は、送料込みの購入金額を記載してください。

Q 紙の調査票で回答していますが、インターネットを使った回答に変更できますか。

A いつでも切り替えることが可能です。

切り替えに際しては、下記実施本部までご連絡ください。

(一社)新情報センター 家計消費状況調査実施本部 (0120-00-4612)



家計消費状況調査は、皆様のご理解とご協力の上に成り立っており、調査結果は、政府の景気判断の材料となっているほか、幅広く利用されています。

引き続き、調査へのご協力、ご回答をよろしくお願いいたします。

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

総務省統計局統計調査部消費統計課家計収支調査企画係 電話(03)5273-1011(直通)